

民間事業者と連携した駅舎利活用及び小高区活性化事業 概要について

1 現状及び課題

常磐線小高駅については、1日平均約500人が利用し、小高区の公共交通の拠点としてのみならず、来訪者にとっての観光交流の入口として利活用が期待できる施設である。

一方で、常磐線全線開通後は無人駅となる可能性があり、小高駅利用者の多くが高校生であることから、来訪者への対応と併せて高校生の見守り等にも対策を講じる必要がある。

2 事業実施の目的

(1) 目的

小高駅舎に係る案内人を配置し、来訪者への対応及び高校生の見守り活動等を行うことにより、交流の拠点としての機能を高め、小高区の交流人口の拡大を図ることを目的とする。

(2) 「JR東日本スタートアッププログラム」との連携

JR東日本㈱及びJR東日本スタートアップ㈱が、ベンチャー企業等から駅を活用したビジネス・サービスの提案を募る「JR東日本スタートアッププログラム」を行い、(一社)ネクストコモンズラボが小高駅を活用し、人を呼び込む事業を提案し令和元年11月に採択されている。

これにより、(一社)ネクストコモンズラボはJR東日本と連携し、小高駅に人を誘導する取り組みを行うことから、関係案内人は当該団体と連携し関係人口の拡大を図る。

3 事業概要

(1) 関係案内人の業務

- ① 駅利用者の見守り
- ② 地域内情報の紹介
- ③ 駅及び駅前を活用したイベント等のコーディネート
- ④ その他 ((一社)ネクストコモンズラボとの連携事業)

・旅×ジョブマッチング事業

副業体験をツアーパッケージとした旅行企画への運営協力

・企業人材育成事業

首都圏からの企業研修への連携協力

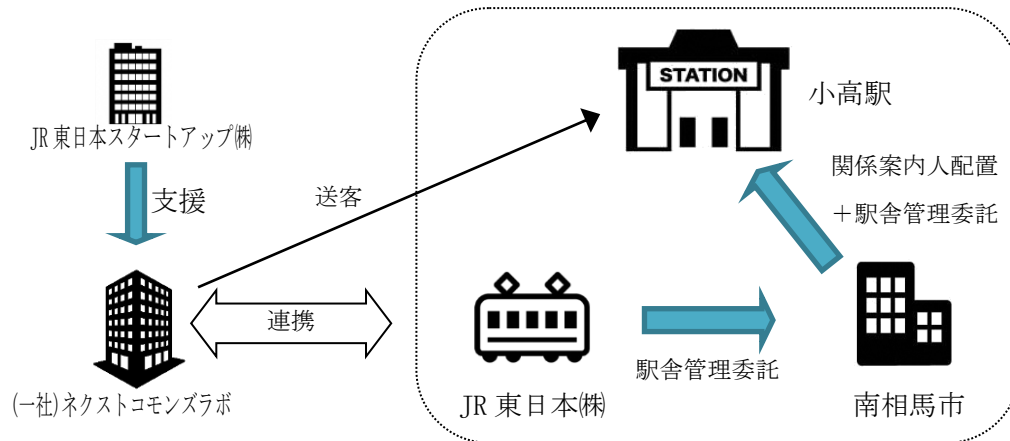
(2) 配置人員 (予定)

- ① 専任 (常駐) 1名
- ② 当番制 3名

※案内所開設時間は関係団体と協議中

※特に、平日の通学時間帯は必ず窓口に配置

(3) 事業実施イメージ



※上記のうち実施主体となるJR東日本㈱と南相馬市による協定を締結
 ※市が委託する関係案内人設置業務委託先については、(一社)ネクストコモンズラボとの連携が円滑に行えるネクストコモンズラボ南相馬を想定

4 成果目標値

区分	R1 見込み	R2 目標値	R3 目標値	R4 目標値
案内所利用者	-	200人	270人	340人
駅利用者(参考)	約183,000人			

※単なる道案内、観光案内は含まない。

※3年をめどに実施し、3年目にその後の実施について検証することとする。

5 今後の展開

現在、JR東日本㈱では、常磐線の全線開通に向け一定程度の駅舎改修を実施予定である。

関係案内人配置後の展開として、当該事業実施主体の事業者からは、コミュニティスペースの更なる確保やショップ等設置に向けて駅舎改修の提案もなされているが、現在のところ未確定である。